

# 進路指導部だより

来年度卒業予定生 号 2024/3

西宮香風高等学校進路指導部発行

来年度（令和6年度）卒業予定生のみなさんへ

## 進路の実現に向けて やらなければならないことリスト



### 【①基礎学力をつける】

どのような進路でも、基礎学力をつけることは必要です。  
進学する人はもちろん、就職を考えている人も、一般教養などの試験が実施される事業所もあります。  
進路指導室には、就職試験用の問題集も置いてあるので、どのような問題が出題されるのか、一度取り組んでみましょう。  
進学を志望する人も、就職を志望する人も、春休みの時間を活用して、苦手科目の克服などに取り組み、進路実現への一歩を踏み出しましょう。

**※大学への進学を検討している人は、必ず模試を受験しましょう。**  
自分の成績が全国レベルでどの位置にあるのかを知ることができます。  
また、希望する大学にどの程度合格する見込みがあるのかを判定してくれます。  
そして、今後成績を伸ばすにあたって必要な、自分の弱点を知る良い機会にもなります。  
模試を受験する際には、解答を貰ってから、問題を解き直し、『解答・解説』をじっくり読んで、同じ系統の問題に対する正答率を着実に上げられるよう取り組みましょう。

### 【②情報を収集する】

春休みにはさまざまな専門学校や短大、大学でオープンキャンパスが開催されます。  
進学を希望する人は、学校の立地、特徴、雰囲気、入試方法などを知る良い機会になります。  
学校によっては、先輩方のお話を直接聞くことができたり、模擬授業に参加できたりするところもあります。  
推薦入試などでの入学を目指す人は、面接試験において非常に重要な手がかりを得られる貴重な機会でもあります。お金の相談なども可能です。（給付型の奨学金などは進路指導部へ）  
オープンキャンパスの日程は、各学校のHPや、進路指導室の前のチラシなどに掲載されています。事前予約が必要な学校もありますので、早めに確認しましょう。

また、就職を志望する人も、自分がどのような仕事に就きたいのかを考え、業界研究をしましょう。自分が目指す業種、職種において、どのような人材が求められているのかをよく研究し、就職試験までにどのような力をつける必要があるのかをじっくり考えましょう。

ボランティアの経験や資格・検定もアピールになります。今からでも間に合うのでぜひ検討してください。

注1) 専門技術サービス業や卸売り小売り業など 注2) 営業職・経理職など 注3) 人の心を引きつける力

### 【③言葉遣いを見直す】

就職試験においては必ず面接試験が実施されます。また、進学の場合も、試験によって、面接試験が課される学校もあります。面接の時だけ敬語を使おうとしても、日頃から使っていないと失敗することがよくあります。日頃から正しい言葉遣いを心がけるようにしましょう。また、いろいろな人と話すこと自体が面接の練習になります。面接練習の回数は限られているので、実のある練習ができるように、今からできることに取り組みましょう。

### 【④日々の授業を大切にする】

就職を志望する人は、欠席日数が多いと不利になります。特に最終年度の欠席日数はとても大切です。

しっかりと体調管理をおこない、欠席しないよう心掛けてください。

進学を志望する人も、推薦入試では、欠席日数に制限がある大学もあります。欠席が多くて希望する大学の入試を受けるチャンスが減るといことのないようにしましょう。

また、欠席が多いと、授業の理解が進まず、成績が振るわない可能性が高くなります。就職の際にも、進学の際にも評定は非常に重要な要素となります。評定を上げる最後のチャンスを無駄にすることのないよう、しっかりと授業に出席し、提出物などもきっちりと出すようにしましょう。

### 【編集後記】

あの学校に入学したい、あの会社で働きたいと現代では自分の理由（自由）が重んじられます。しかし、その学校には学校の理由（校由）が、その会社には会社の理由（社由）もあり、自分の思うようにいかないことも起こってきます。

そのような辛い時でも、自分が何をしたいのかという原点を明らかにし、精進し続けると、分業化しながら進歩する人間集団に貢献できる存在となるはず

です。将来、自分が何をしたいのか分からない。そう悩んでいる人もいるでしょう。昔から、こうした悩みをもつ若者をく自分探しく期く第二の誕生く期の存在と表現し、人の成長過程として寛容的に捉えられてきました。親から自立し、分業化しながら進歩する人間集団内で自分の役割を探すことの困難さ・生みの苦しみを先人は認識していたのでしよう。

まずは先の「進路の実現に向けてやらなければならないことリスト」を参考に、自分のできることを積み上げ、進路を実現させて、よりよい未来を築いていこう。